

「延岡市一般廃棄物処理基本計画【ごみ処理基本計画】（案）」に関する意見募集結果一覧

- ・ 意見募集期間 令和8年1月16日（金曜） ～ 令和8年2月5日（木曜）
- ・ 結果 提出者8名（内、無作為抽出者7名） 、 意見15件

No.	分類	意見の概要	本市の考え方・対応
1	市民サービスの充実に関する事項	高齢化が進み、認知症や身体が思うようにならない人が増えている現状で、分別の判断が容易になるよう改善する。例えば柳川市などのように「もう燃やすしかないごみ」など。	本市では、高齢者の方を含む市内全世帯に対して「延岡市ごみだしルールブック」を配布し、記載している分別方法で「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」、「資源物」等の排出をお願いしています。なお、高齢者の方からごみの分別方法等で相談があった際は、電話での説明や、場合によっては相談者宅を訪ねるなどし、分別方法を説明しています。 また、高齢者や障がい者等の方で、ごみ出しの困難な世帯に対しては、自治会等との協議の上で、「延岡市家庭ごみふれあい収集」による戸別の対応を行っています。 基本計画では、市民サービスの充実として位置づけており、今後もこのような取組を継続していくこととしています。
2		いつもありがとうございます。ごみの出し方が分からない時に電話させてもらってます。	
3	ごみの分別・排出に関する事項	現在、リチウムイオン電池は、透明の小袋に入れて出す事になっているが、市設置の回収ボックスに直接投入するに変更した方が良いと思う。（発火防止のため）	ご提案のありましたリチウムイオン電池を「市設置の回収ボックスへ直接投入する方式」については、設置場所での発火時の対応が困難であるなどの課題があり、使用済小型家電回収ボックスと一緒に入れることやリチウムイオン電池専用の回収ボックスを設置することはしておりません。 本市では、燃やさないごみの収集日に透明の小袋に入れて排出していただき、収集作業員がその小袋を他のごみとは別に保管し回収する方法をとっています。この方法は、他の方法に比べて、現時点では、安全性が高い回収方法であると考えています。 今後も市民の皆様及び収集・処理作業従事者の安全確保を最優先に、より安全性の高い回収方法について、他自治体の事例等も参考にしながら、引き続き検討していきたいと考えています。
4		資源となりリサイクルできるごみに係る料金を安くして、分別処理の細分化を促す。	
5	ごみの発生抑制に関する事項	年齢を重ねてきましたので、まず必要以上なものは買わない。持って帰るのに大変。特にプラスチックなど入っているもの。それだけでもかさばるので。生ごみが出た時など埋められるものは、裏の畑に埋めています。 食事会などは、皆さん年を重ねていますので、沢山食べられませんし、気心のわかった人達だけなので、皆さんタッパーを持参しています。もちろん私も。	本市では、ごみの発生抑制、資源化に重点を置いた4Rを推進していますが、基本計画に記載のとおり、まずは、ごみを発生させないための取組であるリフューズ（断る）、リデュース（減らす）、リユース（再使用）が最も重要と考えています。必要以上の物を購入しないこと。生ごみを畑のたい肥として利用すること。そして、飲食店等が許可した「持ち帰り」。これらの全てが、ごみの排出抑制に繋がる重要な取組です。ごみの発生抑制にご協力いただき、まことにありがとうございます。

No.	分類	意見の概要	本市の考え方・対応
6	ごみステーションの維持管理に関する事項	<p>収集の人達には頭が下がる思いです。何も不具合は感じておりません。欲を言えば、ごみステーションに防犯カメラでもつけたらごみの残ることもなくなるのでは？と思いますけど、いたずらされて取り去られるかもわかりません。</p>	<p>ごみステーションに残されているごみは、排出方法や分別ルールなどに誤りがある違反ごみであり、啓発シールを貼ることで、排出者にごみの出し方が間違っていることを啓発しています。</p> <p>市内約5,000箇所のごみステーションを、本市のみで管理することは困難であるため、各区ごとに登録いただいているクリーンステーション指導員の皆様のご協力もいただきながら、ごみステーションは適正に維持されています。</p> <p>本市では違反ごみ対策として、ラミネート加工した啓発看板の作成や、区等からの要望に応じて、ごみステーションでの早朝立ち番指導等を行っています。</p> <p>今後も、「違反ごみの改善がみられず頻繁に残される」「啓発シールのないごみが残されている」など問題がある場合は、ごみステーションの管理者（区長等）から資源対策課へ連絡をいただき、状況に応じ監視カメラの設置も含めた適切な対応を実施しています。</p>
7		<p>ごみの排出、海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、食ロス、どの問題も私達が考えて行動しなければ子供たち、子孫達が「ツケ」を払わなければいけなくなると思っています。にも関わらず「燃やすごみ」の日に透明袋に色々混ぜて10袋以上置いていく人がいます。大人であろうそういう人がいる事が情けなくなります。</p>	
8	食品ロス及び食品廃棄物の削減に関する事項	<p>公民館活動や講習会などで、食品ロスにならないよう食品の長期保存法（真空パックやアイラップを使った簡易真空保存）、食材ロスにならないような料理法などを教えるなど。</p>	<p>今回の基本計画の見直しでは、食品廃棄物の削減に向けた取組を推進するため、該当する施策を見直し「食品ロス削減推進計画」として盛り込むことといたしました。</p> <p>食品ロス削減に繋がる料理法については、令和4年にエコクッキングに関する啓発ガイドブック「エコクッキングってなあに？」を作成し、市のホームページで公開しています。また、市民団体の主催するエコクッキング教室と連携し、食品ロス削減の啓発を行っています。</p> <p>その他にも、小学生を対象とした出前講座で、家庭で発生する食品ロス等の啓発を実施していますので、今後は、区などから出前講座等の依頼時を含め、要望に応じて食品ロス削減に関する取組を、既存の実施内容に追加し啓発したいと考えています。</p>
9		<p>30・10運動はどのようなものか知っているが、今まで宴会で実施された事はない。普及の推進ではなく別な方法を検討すべきではないかと思う。</p>	<p>宮崎県が主体となる「みやざき食べきり宣言プロジェクト（食べきり協力店への登録や30・10運動の普及等）」についても、市として協力すべき重要な取組ですので、引き続き、食べきり協力店へ30・10運動のポスター掲示を依頼するなど、様々な施策を展開することで、食品ロス及び食品廃棄物の削減に向けた取組を推進します。</p>
10		<p>2世帯6人家族で生ごみが多いです。コンポストの補助が1人だけしか使えなかったことが残念でした。</p>	<p>本市では、食品廃棄物の削減・資源化のため、学校給食等で発生した食品残渣のたい肥化を実施しております。また、家庭で発生した食品廃棄物を削減するための取組として生ごみ処理機等購入費補助金を設けています。</p>
11		<p>延岡市のごみ排出量が減少傾向にあるということで、今後も資源物の分別はもちろん、フードロスへの取り組みを意識していきたいと思っています。</p> <p>また、家庭で出る生ごみも飼料化などにしてリサイクルできると聞き、これができるようになればもっとごみ排出量が減るのではないかと思います。揚げ物などで使った廃棄油も、ディーゼルエンジンの燃料を作るもとなるみたいなので、廃棄油も生ごみ同様リサイクルできるといいのかなと思いました。</p> <p>ただ、現状では生ごみと廃棄油も燃えるごみとして出しています。</p> <p>お店などに回収してくれる場所を設けてもらえると、みんなの目にもとまり、興味を持つ人も増え、結果的にごみ排出量を今よりもっと減らせるのではないかと考えました。</p> <p>実現するにはなかなか難しいことかもしれませんが、何か知らぬ形で生ごみや廃棄油もリサイクルできるようになれば嬉しいです。</p>	<p>本市の生ごみ処理機等購入費補助金におきましては、より多くの市民の皆様にご利用いただくことを目的として、生計を同一とする1世帯あたり1基までを補助対象としております。補助金交付日から5年を経過した場合には、再度本補助制度の申請が可能となりますので、その際には改めて申請をご検討いただければ幸いです。</p> <p>使用済み食用油（廃棄油）につきましては、循環型社会の形成に資する取組の一部であると認識していますが、リサイクルするにあたっては、排出時のルール、回収拠点の設置・管理、回収・運搬、それらにかかるコスト、事業の継続性などの課題があり、現時点では難しいと考えております。</p> <p>安定的な受け入れ先の確保も最重要の課題であり、他自治体の取組も参考にしながら、将来に向かって、実現の可能性を高めていくための検討を進めてまいります。</p>

No.	分類	意見の概要	本市の考え方・対応
12	啓発に関する事項	<p>市民1人1人が排出者としてごみの減量を心がけているかと問われると、そんな実感はありません。</p> <p>個人的には、LINEでの啓発・広報はよく利用しています。分別に前向きに取り組めます。</p> <p>イベントでの啓発や学校での課外授業では、子どもたちが素直に分別や資源・減量など受け入れて興味を持ってくれていると感じています。</p>	<p>ごみの減量化・資源化を促進させるには、市民や事業者の皆様に分別を意識して協力していただくことが不可欠です。現在、市民1人1日あたりのごみの排出量が減少傾向にあるのは、市民や事業者の皆様のご理解とご協力が結果に表れているものと考えています。今後も皆様に、本市の様々な取組をご理解いただくために、基本計画では、行政における取組として「教育・啓発活動の充実」についても重点施策に位置づけています。</p> <p>この取組では、市内小学生を対象とした環境学習や各種イベント、LINE等の様々な媒体や機会を活用して情報提供・啓発活動を推進しています。</p> <p>また、地域におけるごみ問題を解決するため、地区担当職員による地域コミュニティとの連携や調整の実施、さらに生涯学習の一環として、ご希望いただいた団体様への出前講座も行っておりますので、ご利用ください。</p> <p>1人でも多くの市民の皆様が本市の取組が伝わるように、今後も、各世代のニーズに沿った周知・啓発活動を実施していきます。</p> <p>なお、今回、見直しを実施した「延岡市一般廃棄物処理基本計画【ごみ処理基本計画】」については、完成版とともに概要版を延岡市のホームページに掲載します。</p> <p><b>【補足事項】</b></p> <p>延岡市公式LINE掲載の「家庭ごみ分別検索機能」につきましては、月ごとに、検索エラーとなったごみの情報を抽出することで新たな検索対象ワード登録し、より使いやすく更新しています。今後とも、「家庭ごみ分別検索機能」のご活用をよろしくお願いいたします。</p>
13		<p>ごみ排出量が減量傾向にあるのは、各自浸透している結果だと思うので、イベントや活動の周知を増やして欲しいです。</p>	
14		<p>私が思ったことは、延岡市民1人あたりのごみ排出量が、令和元年度より減少傾向にあるということ。一市民として嬉しく、自分自身、飲食業を営んでいるため、食品ロスの問題は特に関心を寄せておりました。やはり市民一人一人が意識をもって行動することは大切だと思いますので、このような策定がなされたら、もっと簡単にしたパンフレットやHPで広く知ってもらえる様になったらいいと思います。</p>	
15	施設整備に関する事項	<p>清掃工場は、今後も現在の場所で操業するのが現実的だと思う。整備・機器の更新も必要だが、地震発生に備え防潮堤も絶対に必要だと思う。</p>	<p>延岡市清掃工場は、ご懸念頂いているように大規模地震が発生した際には、津波により浸水する可能性のある区域となっています。</p> <p>そのため、清掃工場における大規模災害対策としまして、防水扉の設置による浸水対策や地震対策などの取組を今後実施し、安定したごみ処理の継続を図る方針としています。</p>